

特別会計 決算



公共下水道の中継ポンプ場



健康体操

主な質疑

	問	答
国民健康保険	国民健康保険税が前年度に比べ3189万円減った。これは、加入者の減少や高齢化が原因なのか。	住民ほけん課長 町の人口減、社会情勢などにより年々減少している。高齢者の占める割合が増え、所得全体が減少した。さらに地方税法の改正に伴う国民健康保険税の改正で、低所得者に対する保険料軽減措置の拡充が行われたことが、減収要因の一つと考えられる。
	低所得者の保険税を5割や2割減額する制度が拡充された。町に入る保険税は減ったが、その財政支援は国からあったのか。	住民ほけん課長 5割軽減に係る対象者が前年度に比べて倍以上に伸びた。軽減分に係る補填という形で、一般会計から繰り入れられる保険基盤安定繰入金が増額となっている。
公共下水道事業	一般会計の繰入金の内、赤字補てんの意味合いが強い基準外繰入金はいくらあり、それをどのように減らしていくのか。	まちづくり整備課長 公営企業の性質上、能率的な経営を行っても、経営に伴う収入だけでは足りない。基準外繰入は、5787万8000円だった。 下水道事業の主な財源である使用料の増収を図るため水洗化を促進し、使用料の見直しも視野に入れ検討する。
介護保険	基金積立金が8477万円だった。3年間で積み立てられた基金の総額とその活用方法はどのようなものか。	住民ほけん課長 介護保険給付費基金の平成26年度末の残高は、1億2419万1000円である。そのうち、9417万2000円を第6期計画の介護保険料の軽減に充てる。 また、事業実質残高は3001万9000円となるが、介護給付費等の増加に対応するための財源である。

学童クラブ保育料改定

月額5000円⇒月額7000円

—可決—

問 なぜ、2000円も値上げするのか。

答 福祉健康課長 今回、保育料を5000円から7000円に値上げする理由は、給付と負担を適正化すること。近隣で最も保育料が安い越谷市に合わせたこと。国の指針で、経費の半分を利用者、残り半分を国、県、町で3分の1ずつ負担になっている。現状の町負担が6分の1を大きく超過しており、提案したもの。

問 低所得者に向けた配慮が条例の中で提案がないのは、どうしてなのか。

答 福祉健康課長 低所得者の配慮は、子育て支援の観点と近隣との比較からしても必要と考えている。様々な手法があり、平成28年度当初予算の審議等の中で一体で議論していただく必要があると考えている。

問 町の少子化対策、子育て支援策に保育料値上げは逆行するのではないか。これら政策との整合性は、どう考えているのか。

答 町長 安ければ良いというものではない。負担をお願いするタイミングも考えていた。4割上がることになるが、上がった基準は決して高い金額でない。今まで、町が負担していたので、保育料改定を理解いただきたい。



学童クラブで遊ぶ子どもたち

反対討論

保護者への生活の影響が考慮されておらず、子育て支援の充実に逆行するもの。学童クラブで働く指導員の賃金水準は極めて低く、劣悪な労働条件が放置され、その改善努力の姿勢も見られないので、この議案に反対する。

賛成討論

保育料改定は、仕事と育児の調和を図るきっかけになる。家庭、企業、地域の中で子育てを総合的な施策で進めていく意味で料金改定を評価する。貧困家庭への経済的支援が課題であることを指摘し賛成する。

一般会計補正予算

1億2942万円追加

主な事業

○防犯灯更新事業費	1000万円
○生活排水処理基本計画策定業務委託料	3000万円
○舗装修繕委託料	700万円
○排水構造物清掃委託料	200万円
○街路管理委託料	500万円
○道路修繕工事費	838万円